

## サイエンスアゴラ 2013 参加報告

科学技術振興支援実行委員会

本委員会は11月9日(土)-10日(日)に独立行政法人 科学技術振興機構(JST)の主催により開催されたサイエンスアゴラ 2013 に、「日本技術士会 20 部門で知る身近な科学技術」として出展しました。メイン会場となった日本科学未来館は大変なにぎわいを見せ、我々のブースにも2日間で約200名の参加者が訪れてブース担当者は終日大忙しでした。

今年の出展内容は、科学技術に関する三択クイズにビンゴゲームや様々な実験を絡めて、楽しみながら科学技術に関する知識が身に付くという趣向です。小学校低学年の授業内容でも十分に回答できる問題から、大学院生でも苦戦するような高度な問題までが出揃い、日本技術士会の守備範囲の広さについても再認識することができました。

ビンゴが上がれなかったのでリベンジマッチを挑んでくる子供が何人もいたり、親子で挑戦(しかもお父様は技術士!)したら息子さんが先に上がってしまったなどという微笑ましい光景もありました。その他「技術士試験のパンフレットがあったら下さい」という真剣な参加者も居られました。

今回は一つの部屋の中に、本委員会によるものの他、環境部会、慶應技術士会、及び日立技術士会による4つのブースがまとめて配置され、一体感ある技術士関連コーナーの様相を呈して、技術士および日本技術士会の格好のアピールとなった2日間でした。



ブースでの様子



家族連れでの参加も多数ありました。



クイズでの優秀者への表彰



出展者による交流会にて毛利館長と